

● 経済用語・データのいみ ●

「関係人口」

地方創生関連の話題の中で、「関係人口」という言葉をよく聞きます。今回はこの「関係人口」について説明いたします。

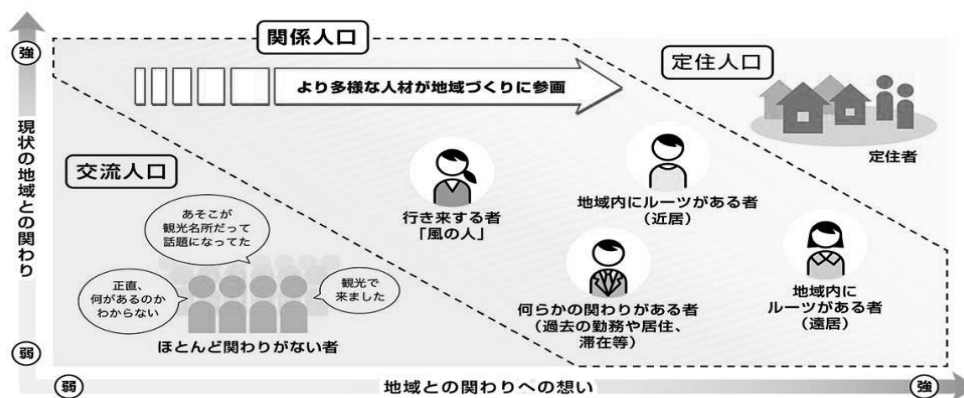
1. 「関係人口」とは

「関係人口」とは、「移住した『定住人口』でもなく、観光に来た『交流人口』でもない、地域と多様に関わる者」と、総務省の「関係人口ポータルサイト」に定義が明記されています。具体的には、移住や定住こそしていないものの、ボランティアなどの活動をおこない、もう一つのライフステージとして地域と継続的に交流する他地域の住民を指します。図表1により説明すると、観光や物販などでその地域に触れたことのある人（いわゆる一見さん）は、「交流人口」にあたり、「関係人口」は「交流人口」よりも「関係が強い人」で「定住人口」ではない人という意味です。地方圏では、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しており、こうした課題に対し、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わるものである「関係人口」に着目し、地域外からの交流の入り口を増やすことが必要と考えられています。地域によっては若者を中心に、変化を生み出す地域外の人材が入り始めています。

2. 「関係人口」への取り組み

総務省では、平成30年度に「『関係人口』創出事業」を、平成31年度及び令和2年度に「関係人口創出・拡大事業」を実施し、国民が関係人口として地域と継続的なつながりを持つ機会・きっかけを提供する地方公共団体を支援しています。

図表1 総務省が示す関係人口の概念図



資料：総務省「関係人口ポータルサイト」より転載

閑話ひとつ

- ▶ 海外を舞台に花開く日本のアスリートたち。松山英樹マスターズ優勝。初出場は東日本大震災直後。「10年前にここに来させてもらうことによって自分が変わることができたと思う」。画面からは清々しい表情。
- ▶ 「才能は有限、努力は無限」。彼が大学時代から大切にしてきた言葉。優勝特番で、「ゴルフが好きで、上手になりたい、試合で勝ちたいという気持ちでやっているの、努力っていえば努力ですけど」と話す。
- ▶ 米大リーグ大谷翔平。リアル二刀流として初めて登場した「2番・ピッチャー」。初球を特大ホームラン。投げては時速100マイルの快速球。試合後は「楽しい」の一言。二刀流は自然で楽しいことのように。
- ▶ 4月下旬、本塁打トップで先発登板はバープ・ルース以来100年振りの快挙だ。白星で2安打の大活躍。ただ、試合終了時のグラウンドに彼の姿はなく、「裏でトレーニングをしていた」という。
- ▶ アスリートは時代を映す鏡でもある。身近なところにも、自分の力を試してみたいとITベンチャー企業に転職した若者がいる。目標を大事に明るく努力を続けて、これからも仕事を楽しくていこう。(HS)